

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
2025年 6月 19日	
愛知県知事殿	
提出者	
住所 豊田市大林町一丁目81番	
氏名 トヨタすまいるライフ株式会社	
代表取締役 近藤 浩司	
電話番号 0565-24-1260	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	トヨタすまいるライフ株式会社
事業場の所在地	豊田市大林町一丁目81番地
計画期間	2025年 4月 1日 ~ 2026年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06：総合建設業
② 事業の規模	2024年 3月期 売上高 317.5億円
③ 従業員数	1,607人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	戸建住宅の新築・解体・修繕・模様替え工事 ・ 廃プラ→再生処理業者へ委託しRPF燃料化 ・ 木くず→再生処理業者へ委託しチップ化 ・ 石膏ボード→製造メーカーへ委託し再資源化、 再生処理業者へ委託し地盤改良材、段ボール原料に再資源化 ・ 紙くず→再生処理業者へ委託し再資源化

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
建設部長（監査責任者）
|
トヨタホーム施工室（産業廃棄物対応責任者）
|
総括G（廃棄物管理担当者）
|
建設部－ライフサービス部－シニアライフ事業部－総務部

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 2024年度 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	排 出 量	341 t	446 t
	(これまでに実施した取組) 新築現場 廃プラスチック：床養生材の再利用 木くず：木製部材固定木を鉄製へ変更しリユース化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	排 出 量	306 t	401 t
	(今後実施する予定の取組) 現状の活動を維持		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新築現場：廃プラ・木くず・紙くず・石膏ボード・陶磁器くず・ 混合（分別小袋を使用）の6分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場PTを通じ、現場での分別状況を関係者へFBし弊社建築現場での 分別廃棄ルールを社内外の関係者に周知を図る。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度 2024年度 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	全 処 理 委 託 量	341 t	446 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	276 t	315 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	247 t	315 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	廃プラ：シーラ材と固形プラの分別を行い、中間処理で選別 破碎処理後、RPF化施設で燃料化 木くず：分別回収を行い中間処理場で破碎処理後にチップ化 燃料、原料として再資源化		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず
	全 処 理 委 託 量	306 t	401 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	275 t	360 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	244 t	360 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 現状の活動を維持		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項（別紙）

① 現状	【前年度 2024年度 実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス陶磁器くず
	全 処 理 委 託 量	286 t	221 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	224 t	177 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	224 t	54 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 紙くず：現場で分別した紙くずを産廃処理業者で回収。古紙業者 に出荷してリサイクル処理 ガラス陶磁器くず：現場で分別した陶磁器くずを中間処分場で選別 セメント製造メーカーの原料としてリサイクル			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	ガラス陶磁器くず
	全 処 理 委 託 量	257 t	198 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	231 t	178 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	231 t	66 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 現状の活動を維持			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項（別紙）			
① 現状	【前年度 2024年度 実績】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	アスファルト・コンクリート
	全 処 理 委 託 量	92 t	297 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	73 t	33 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	73 t	33 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 石膏ボード：現場で分別した石膏ボードを産廃処理業者で回収、製造 メーカーへ出荷して再原料化 アスファルト・コンクリート：現場で分別したアスコンを建設副産物と してアスコンメーカーでリサイクル		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	アスファルト・コンクリート
	全 処 理 委 託 量	82 t	267 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	73 t	53 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	73 t	53 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 現状の活動を維持		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項（別紙）			
① 現状	【前年度 2024年度 実績】		
	産業廃棄物の種類	瓦礫類	建設混合廃棄物
	全 処 理 委 託 量	483 t	58 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	208 t	29 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	101 t	58 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 瓦礫類：現場発生した瓦礫類を中間処分場で選別、破碎路盤材に リサイクル 建設混合廃棄物：現場で小袋で分別した混合状態の産廃を中間処分場で プラ、紙、金属等に品目毎に選別を行い再資源化して リサイクル		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	瓦礫類	建設混合廃棄物
	全 処 理 委 託 量	434 t	52 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	217 t	26 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	130 t	52 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 現状の活動を維持		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項（別紙）			
① 現状	【前年度 2024年度 実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	汚泥
	全 処 理 委 託 量	81 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	80 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	81 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 金属くず：現場で分別した金属を2次中間処分場で破碎、圧縮して製鉄 メーカーでリサイクル 汚泥：現場で発生した汚泥を中間処分場で混錬、乾燥後管理型埋立処分場 で埋立処理		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属クス	汚泥
	全 処 理 委 託 量	72 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	71 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	71 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 現状の活動を維持		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項（別紙）			
① 現状	【前年度 2024年度 実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	石綿含有産業廃棄物
	全 処 理 委 託 量	0.1 t	60 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.1 t	3 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 繊維くず：解体工事で発生した古畳を中間処分場でRPF燃料化 解体工事現場で発生した石綿含有産業廃棄物を安定型埋立処分場で埋立		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	石綿含有産業廃棄物
	全 処 理 委 託 量	0.1 t	54 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.1 t	5 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.1 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 現状の活動を維持		